| 区 | | 開講 | 使用 | 単 | | 位 | | i |
|--------------|--|----|----|----|-------|------|--|--|
| 分 | 授業科目 | 時期 | 言語 | 必修 | 選択 必修 | 選択 | 担 当 教 員 備 | 備考 |
| | 都市・建築デザイン学特論 | 毎年 | J | | 2 | | 教 授 五十嵐太郎 都市建築 科 准教授 本江 正茂 都市建築 科 | 元の学際基盤 目および関連 目のうちか 4単位以上 |
| 学 | 都市•建築計画学特論 A | 毎年 | J | | 2 | | 教 授 小野田泰明 都市建築 教 授 村尾 修 災害研 教 授 岩田 司 災害研 准教授 飛ヶ谷潤一郎 都市建築 准教授 姥浦 道生 都市建築 准教授 野村 俊一 都市建築 | で、 を でと。 ただし、上記4 単位にできるイン ターとがでシップ研 修B及び関連科 目は2単位まで とする。 |
| 際 | 都市•建築計画学特論 B | 毎年 | J | | 2 | | 数 技 大豆 依 似宝瓜 目に | |
| 基 | サステナブル空間構成学特論 | 毎年 | J | | 2 | | 教 授 持田 灯 都市建築 准教授 西脇 智哉 都市建築 准教授 後藤 伴延 都市建築 准教授 小林 光 都市建築 | |
| 盤 | 建築構造工学特論 | 毎年 | J | | 2 | | 教 授 植松 康 都市建築 教 授 前田 匡樹 都市建築 教 授 木村 祥裕 未来科学 教 授 五十子幸樹 災害研 准教授 高橋 典之 都市建築 | |
| 科 | 災害制御学特論 | 毎年 | J | | 2 | | 教 授 源栄 正人 災害研 教 授 佐藤 健 災害研 准教授 大野 晋 災害研 准教授 柴山 明寛 災害研 | |
| | 地盤環境と地震災害 Geological Environment and Earthquake Disaster | 毎年 | J | | 2 | | 教 授 源栄 正人 災害研 准教授 大野 晋 災害研 | |
| | 建築環境デザインのための CFD モデリング CFD Modeling for Building Environment Design | 毎年 | J | | 2 | | 教 授 持田 灯 都市建築 准教授 小林 光 都市建築 准教授 後藤 伴延 都市建築 | |
| | インターンシップ研修B | | | | | 1~10 | 全教員 | |
| | 都市•建築学博士特別講義 | | | | 2 | | | ĺ |
| 関連科目 | 本研究科委員会において関連科目として認めたもの。 | | | | | | | |
| 専門 | 都市•建築学特別研修 | | | 4 | | | 全教員 | |
| 科 目 | 都市•建築学博士研修 | | | 8 | | | 全教員 | |

- 1. 上記科目の単位数を合わせて16単位以上を修得すること。
- 2. 担当教員名は予定者を含んでおり、変更することがある。
- 3. 「授業科目」欄に日本語名称と英語名称が併記された科目は、後期課程留学生特別コースの科目であり、コースに所属しない学生が履修することも可能である。(P. 317「後期課程留学生生特別コース」参照)
- 4. 『開講時期』欄において、『毎年』は毎年開講、『隔年』は隔年開講科目を指す。開講年度等は授業時間割等で確認すること。
- 5. 『使用言語』欄のアルファベット記号について
 - J:日本語開講科目(Lectures given in Japanese)
 - E:英語開講科目(Lectures given in English)
 - JE: 準英語開講科目 (Lectures prepared for both Japanese and foreign)
- 6. 教員所属組織名については、1ページの別表を参照のこと。

都市・建築デザイン学特論【TABABD701】

2 単位

Advanced Course on Urban & Architectural Design

選•必

教 授 石田 壽一 教 授 五十嵐太郎 准教授 本江 正茂

都市・建築デザイン学が対象とする研究課題の中でも優れて今日的先端的主題を取り上げ,現時点での可能な解と現前の都市及び建築デザイン学的課題及び将来展望について講義する。

都市・建築計画学特論 A【TABABP701】

2 単位

Advanced Course on Urban & Architectural Planning A 選•必 教授 小野田泰明

教 授 小野田泰明修 对 授 村尾 修司 报教授 授 岩田 一郎 准教授 姥浦 道生 推教授 野村 俊一

本講義では、都市・建築計画学グループが扱う最先端の 研究課題のうち、都市スケールの課題に焦点を当て、現段 階における到達点と直面する技術的課題、開拓されるべき 関連学問分野、及び将来の展望について講義する。

都市・建築計画学特論 B【TABABP702】

Advanced Course on Urban & Architectural Planning B 選•必 教 授 小野田泰明

教授 村尾 修 司 准教授 提新授 姥浦 道生准教授 野村 俊一

本講義では、都市・建築計画学グループが扱う最先端の研究課題のうち、建築や人間のスケールの課題に焦点を当て、現段階における到達点と直面する社会的課題、開拓されるべき関連学問分野、及び将来の展望について講義する。

サステナブル空間構成学特論【TABABE701】 2単位

Advanced Course on Sustainable Building Engineering

選•必 教授 持田 灯 准教授 西脇 智哉 准教授 後藤 伴延 准教授 小林 光

サステナブル空間構成学グループが扱う最先端の研究課題について,現段階における到達点と直面する技術的問題,開拓されるべき関連学問分野,及び将来の展望について講義する。

建築構造工学特論【TABABS701】

2 単位

2 単位

Advanced Course on Building Engineering

・ 点

教 授 植松 康樹 授 授 前田 羊樹 授 授 五十子幸樹 准教授 高橋 典之

建築構造工学グループが扱う最先端の研究課題について,現段階における到達点と直面する技術的問題,開拓されるべき関連学問分野,及び将来の展望について講義する。

災害制御学特論【TABABS702】

2 単位

Advanced Course on Control of Damage Caused by Disaster

罹•必

教 授 源栄 正人 教 授 佐藤 世 准教授 大野 晋 准教授 柴山 明寛

地域生活環境の快適性及び災害安全性の評価及び制御技 術に関する最先端の研究課題について,現段階における到 達点と直面する技術的問題,開拓されるべき関連学問分野, 及び将来の展望について講義する。

地盤環境と地震災害【TABABS703】

2 単位

Geological Environment and Earthquake Disaster

 選•必
 教 授 源栄 正人

 准教授 大野 晋

過去の災害地震から明らかなように、地震時における地面の揺れの大きさは地盤条件によってかなり異なり、被害状況に差をもたらす。地域の地震防災問題を考える上で、地盤条件による地震動の違いを考慮した都市構造物の耐震設計や地域の地震災害対策を講じることは重要である。本講座では、地震動と被害の関係について解説するとともに、地域の地震被害想定、地震防災対策について概説する。

建築環境デザインのための CFD モデリング【TABABE702】 2 単位 CFD Modeling for Building Environment Design

選・必 教授 持田

准教授 小林 光 准教授 後藤 伴延

乱流拡散現象は都市空間や建築空間の環境に大きな影響を 及ぼすので、良好な環境を実現するためには、これを適切に 予測・制御する必要がある。本講義では、代表的な乱流モデルの考え方を解説するとともに、数値流体解析と組み合わせ て使用されることの多い放射解析や人体温熱生理モデルの概 要を説明する。さらに、数値解析技術を利用して、環境形成 メカニズムを分析し、様々な問題を引き起こす主要な要因を 抽出し、質の高い環境を実現することを目的として行われて いる最新の研究事例を紹介する。

インターンシップ研修B【TABARE901】 $1\sim 10$ 単位 Internship Training B

選択 全教員

多様な実務能力を涵養する目的から、国内、または海外の設計事務所及び設計実務の研修可能な企業において、建築の意匠設計、構造設計、設備設計及び工事監理の実習を行う。本研修を通じて企画、計画、設計、施工、事後研修等の実務およびグループ作業による仕事の進め方を実地に体験し、理解する。研修者は、研修先と指導教員に研修計画書および研修報告書を提出する。研修時間は30時間毎に1単位を認定する。研修時間に応じて単位は対応していく。但し上限は10単位までとする。

都市·建築学博士特別講義【TABARE702】

2 単位

灯

Special Lecture for Doctoral Course

選•必

専門分野及び関連分野における最新の学問研究について,特に学問の創造・発展に関する特別講義である。

| 都市・建築学特別研修【TABARE703】 4単位 Advanced Seminar on City and Architecture 必修 全教員 都市・建築デザイン学,都市・建築計画学,サステナブル空間構成学,建築空間構成学の各グループに所属し,テーマに基づく国内外の文献紹介,資料収集,ワークショップ,レポート等をもとに討論し,高度な知識を習得する。 | 都市・建築学博士研修【TABARE704】 8単位 Doctor Thesis Seminar on City and Architecture 必修 全教員 都市・建築デザイン学,都市・建築計画学,サステナブル空間構成学,建築空間構成学の各グループに所属し,博士論文に関する一定の研究成果をもとに研究発表,討論,国内外の文献紹介などの実験及び演習に参加する。 |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |